

水稻病害虫防除情報

第1号（7月10日発行）

発行者	兵庫県農業共済組合西播支所	(0791) 63-4800
連絡先	光都農業改良普及センター	(0791) 58-2209
	兵庫西農業協同組合	
	西播磨営農生活センター	(0791) 52-2224
	相生市農業協同組合	(0791) 22-0676

1 水稻の生育状況・病害虫発生状況

今年の梅雨入りは平年より2日早い6月4日でした。台風の接近もあいまって、6月以降の降水量は平年よりもかなり多く推移しています。また、気温は平年並みとなっています。

5月下旬、6月上旬移植では、草丈、茎数ともに平年並みで推移しています。

▶生育調査結果（7月8日調査）

品種（調査地点）	草丈（cm）	茎数（本/株）	備考
ヒノヒカリ（赤穂市高雄）	48.0	23.5	移植日 6月6日
コノホシ（相生市矢野町上）	61.3	24.2	移植日 5月31日
きぬむすめ（上郡町上栗原）	53.0	14.5	移植日 6月6日

▶病害虫調査結果（7月8日調査）

病害虫名	調査結果の概要
いもち病	今回の調査では確認していません。
紋枯病	今回の調査では確認していません。
縞葉枯病	今回の調査では確認していません。
ウンカ類・ツマグロヨコバイ	一部で発生していますが、発生程度は少ないです。
カメムシ類	ごく一部で発生しています。

2 今後の管理

《 基幹防除 》

①紋枯病、ウンカ類、カメムシ類等の被害を防ぐため、栽培こよみを参考に防除を徹底してください。

品種	防除時期	主な薬剤名
キヌヒカリ	7月下旬～8月上旬 （出穂7日前～出穂始め）	ビームトレモンセレン粉剤DL
ヒノヒカリ	7月下旬～8月上旬	オーケストラロムダンモンカット粉剤DL

※住宅地の近辺など粉剤防除が難しい場合は粒剤防除を！（粉剤より少し早めに）

品種	防除時期	主な薬剤名
キヌヒカリ	7月下旬	フジワンラップ粒剤
ヒノヒカリ	7月下旬～8月上旬	モンガリット粒剤、フジワンラップ粒剤

②イネカメムシの防除は、出穂の2～3日前にスタークル豆つぶ剤が有効です。

☆薬剤は使用量等登録内容を十分確認し適切にご使用ください。

※薬剤に関する詳細は、光都農業改良普及センター、兵庫西農業協同組合、相生市農業協同組合（上記連絡先）までお問い合わせください。

《 中 干 し 》

①無効分げつの抑制、倒伏軽減、コンバインの作業性向上のため、中干しを行いましょう。目安は1株あたりの茎数が16～18本程度の時期で、軽くひびが入る程度を標準とします。

②中干し後は、間断かん水で根の活力を維持しましょう。

《 そ の 他 》

イナゴ類やカメムシ類の水田侵入を減らすため、出穂2週間前までの畦草刈りを徹底しましょう。

農薬の飛散防止に努めましょう。作業中の熱中症対策を忘れずに！

次回発行予定 8月7日です